

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 B C E F 組

教科担当者：（B組：星野）（C組：星野）（EF組：星野）

使用教科書：（詳説世界史探究 山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界史へのまなざし1 【知識及び技能】 自然環境と人類の関わりの概要を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 人類の誕生を地球46億年の歴史のなかに位置づけて表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 人類の誕生を意欲的に探究し、自然環境の変化と世界史の関係性を考察させる。	・問い 人類の誕生を地球46億年の歴史のなかに位置づけたら、どのようなことがわかるだろうか。 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
単元 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明の歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明の歴史的特質を主体的に追究させる。	・問い 各地の古代文明はどのような特徴をもっていたのだろうか。また、それらに共通する特質は何だろうか。 ・指導事項 ①文明の誕生 ②古代オリエント文明とその周辺 ③南アジアの古代文明 ④中国の古代文明 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 各地域の古代文明の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 古代文明の歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見直しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
1 学期 単元 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究させ、問いに対して既習事項を基に積極的に取り組ませる。	・問い 2つの世界はそれぞれどのような特徴をもつ社会を形成し、またどのような関係にあったのだろうか。 ・指導事項 ①中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 ②秦・漢帝国 ③中国の動乱と変容 ④東アジア文化圏の形成 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8
単元 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 南アジア、東南アジア世界の多様性を生み出した地理的環境について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアの特質について考察し、自分の言葉で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 東南アジアの歴史的特質を主体的に追究させ、問いに対して既習事項を基に積極的に取り組ませる。	・問い 南アジアで生まれた宗教はどのように展開し、また、社会にどのような影響を与えたのだろうか。 ・指導事項 ①仏教の成立と南アジアの統一国家 ②インドの古典文化とヒンドゥー教の定着 ③東南アジア世界の形成と展開 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 南アジアと東南アジアの歴史的特質について考察し、両者の共通点や相違点を挙げながら自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東南アジアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
単元 西アジアと地中海周辺の世界 【知識及び技能】	・問い 西アジアと地中海周辺に現れた諸国家は、どのような特徴をもって	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。				

<p>西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアの身分・階級・王権・宗教に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺国家形成の歴史的特質を主体的に追究させたうえで、協働学習を行うことで問に対して積極的に取り組ませる。</p>	<p>いたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①イラン諸国家の興亡とイラン文明 ②ギリシア人の都市国家 ③ローマと地中海支配 ④キリスト教の成立と発展</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>・古代ギリシア・ローマ、キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <p>【知識及び技能】 アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ユーラシア大陸をつなぐネットワークについての理解を史資料を基に主体的に追究させる。</p>	<p>・問い イスラーム教の成立は、西アジア・ヨーロッパの人々や社会にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ②ヨーロッパ世界の形成</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 イスラーム世界の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 イスラーム世界の最も大きな特徴について、根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ユーラシア大陸をつなぐネットワークについての理解を主体的に追究している。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識及び技能】 イスラーム世界によって形成された陸と海のネットワークを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南アジアや東南アジアでイスラーム化が進んだ背景について考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。</p>	<p>・問い イスラーム教はどこまで広がり、諸地域をどのように結び付けたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①イスラーム教の諸地域への伝播 ②西アジアの動向</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 イスラームの拡大がユーラシア各地にもたらした変化を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 イスラームの拡大がユーラシアの各地にもたらした変化について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパ封建社会の変化を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパの特徴とその後の変化について、古代史からの学習を踏まえて、積極的に考察させる。</p>	<p>・問い いわゆる中世ヨーロッパにはどのような特徴があり、それはどのようにかかわっていたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①西ヨーロッパの封建社会とその展開 ②東ヨーロッパ世界の展開 ③西ヨーロッパの世界の変容 ④西ヨーロッパの中世文化</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 ・中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ヨーロッパの封建社会が変化していく要因について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>単元 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>【知識及び技能】 モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し、理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モンゴル帝国時代の東西交流の新しさを多面的・多角的に考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し、問いに対して主体的に取り組ませる。</p>	<p>・問い 東アジアの諸国家はどのような性格をもち、またモンゴル帝国はどのような役割を果たしたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①アジア諸地域の自立化と宋 ②モンゴルの大帝国</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 ・10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。</p> <p>・モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアや南アジアの諸帝国の統治政策で、何が最も重要であったか根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 10～12世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 大交易・大交流の時代</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し協働学習を通じて、追及させる。</p>	<p>・問い 「世界の一体化」が加速した背景と、その進行による諸地域の変貌はどのようなものだったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①アジア交易世界の興隆 ②ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 14～17世紀にかけてアジア諸地域間の交易が拡大したことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「南蛮屏風」などの図像資料や鄭曉『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 アジア諸帝国の繁栄</p> <p>【知識及び技能】 ・オスマン帝国、ムガル帝国、清の基礎が築かれた経緯を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 オスマン帝国やムガル帝国、清の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現させる。</p>	<p>・問い これらの諸帝国が共通することは何だろうか。また、それぞれどのような特徴があったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①オスマン帝国とサファヴィー朝 ②ムガル帝国の興隆</p>	<p>【知識・技能】 ・オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。</p> <p>・ムガル帝国の衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。</p>				

3 学 期	<p>的・多角的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ムガル帝国、オスマン帝国、清について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組ませる。</p>	<p>③清代の中国と隣接諸地域 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>に考察し表現する。 【思考・判断・表現】 ・17世紀以降の清を中心とするアジア諸国の結び付きについて、明の時代と比較し、その変化を考察して、自分の言葉で表現している。 ・オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 ・ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ムガル帝国、オスマン帝国、清について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計